



お蕎麦で元気に長生きを



「そば処福住」のオーナー鶴野信幸さんが、一人暮らしの高齢者などを店舗に招待し、蕎麦を振る舞いました。外出する機会が少なくなった方に、大勢で食事をしていただきたいというオーナーの思いから、平成12年から行われています。送迎は社会福祉協議会が協力し、招待された方は、「みんなでお話しながら食事ができて良かった」と楽しんでいる様子でした。
(10月10日)

S53年度生まれ同窓会「W成人式」



今年度40歳を迎える当別小・東裏小・蕨岱小・川下小・当別中出身者の同窓会が、ハタチ×2回で「W成人式（実行委員会主催）」として田西会館・スナック李で行われ、当時の恩師3人を含む約60人が参加しました。恩師からの電報等披露、メディアで活躍の白戸よ姫しらとひめ（同窓生）による南京玉すだれの余興や互いの近況報告などで大いに盛り上がりました。代表の伊藤勇治さんは「この取り組みを小中学校生活を共に過ごした後輩の年代でもぜひ行って、旧友との絆を深めて欲しい」と話されていました。(9月23日)

ふれあい楽しむ スポーツ大会



町内の高齢者など約360人と医療大生120人が総合体育館に集まり、「ふれあいスポーツ大会」でさわやかな汗を流しました。町高齢者クラブ連合会が中心となり民生児童委員などの協力による実行委員会が主催で、今年で32回を数えます。地区の老人クラブ単位で編成され、4チームに分かれた高齢者に学生が加わり、互いにお手玉を投げてザルでとる「ザルでキャッチ」などの10種類の競技に参加。高齢者と学生が交流する場面が多くあり、ハイタッチをして健闘をたたえ合う姿などもみられました。
(10月2日)

広告

広告

広告

広告

ドローンのスペシャリスト養成



DJI JAPAN 株式会社が主催する DJI スペシャリストの認定試験を町職員 5 人が受講しました。試験は、ドローンに関する正しい知識や法令を熟知しているかなどの「筆記試験」と、ドローンを安全に使用できるかや正しい操作方法ができるかなどの「技能試験」を実施。技能試験では 1 分間のホバリング（機体をその場に保つこと）や 8 の字回転など 10 項目がありました。合格するとドローンの飛行制限がある地区での、国への飛行申請が簡素化されるなど、ドローンを利用した業務の推進につながります。（10月18日）

JC 主催「教育の未来を考える」



町で昨年度から始まった「コミュニティ・スクール（CS）」を考える教育フォーラムが、当別青年会議所（JC）の主催で田西会館で行われ、約 60 人が参加しました。CS について JC が独自の視点でまとめ、『CS 委員』『学校教諭』『教育委員会』の役割を明確にし、相互交流と情報共有の円滑化が大切とし、新たに「当別版コーディネーター」を配置すべきと提案。参加者に「賛成か否か」を色紙を上げる方式で問うと、「賛成」が大半を占める場面もあるなど、参加者は真剣に考えている様子でした。（10月19日）



廣 告

廣 告

廣 告

廣 告